

親園中学校道徳だより

令和5年 3月 1日

◎1学年の実践 「もも子」

主題名：地域であなたができること 授業者：和泉 祐貴

岩手県にある蟠龍寺の住職は、愛犬もも子の散歩中ゴミが散乱している景色に心を痛めていた。そんなある日、一人の青年がゴミ拾いをしている姿を見て、見て見ぬふりをしてきた自分を恥ずかしく感じた。その日から散歩中に住職はゴミ拾いをするようになった。やがて愛犬もも子もゴミ拾いを手伝うようになり、「ゴミ拾い犬」として有名になる。拾っても拾っても減らないゴミとそれを拾い続けるもも子の姿を見て、住職は町議会に嘆願書を送り、県内初の「ゴミポイ捨て禁止条例」が制定された。

生徒の感想（一部抜粋）

- ・学校全体でクリーン活動をすると思います。少しでもその姿を見て、心を打たれた人がいてくれたらいいと思います。
- ・年に何回かゴミ拾いを地域の人で行ってゴミをポイ捨てするという考えより、キレイにするという考えをもってもらう。
- ・1人1人が意識して、〇〇するぞって気持ちをもつことが大切。全員ががんばればいいものになる。これからはみんなで決めたことは一生懸命行う。
- ・何かを達成するには1人1人意識することが大切だとわかった。
- ・誰かのためになることを考えて行動したい。

◎2学年の実践 「二人の剣士」

主題名：よりよく生きる喜び、弱さの克服 授業者：新江

生まれつきに隻腕の剣道少年が、憧れの剣道部に入部する。「努力してできないことはない」を信条に、苦難を乗り越え目標だった全国大会出場を果たすも、熱が出て思うように試合ができず負けてしまう。その現実を受け入れられず半ば自暴自棄になっていた主人公は、別会場で試合をしていたもう一人の隻腕の選手の姿を見る。彼の姿を見て、主人公は初めてありのままの自分を認めることができた。主人公の姿を通して、自分自身の生き方について考えた。

生徒の感想（一部抜粋）

- ・自分の心の弱さを強さに変えられるように頑張る。自分の心の弱さを考えることも大事だけど強みがたくさんある、探せるような人になれるようにする。
- ・周りの人を気にしたり、すぐに悲観的にならずに、まず自分に自信をもつ。人と自分を比べない。
- ・自分には自分の良さがあるからそこを伸ばしていく。
- ・自分の心の弱さに向き合いつつも、自分で勇気づけたり、前向きになったりする。
- ・他から言われた自分の悪い面や、自分で気づいた弱さにずっと浸らず、またそれを言い訳にせずに教訓にすることで少しずつ成長したい。
- ・自分の出来ないことに正面から向き合って、何事にも諦めずに努力する。
- ・心の弱さに正面から向き合い改善策を練り、それを行動にうつす。自分と他人を比べすぎない。
- ・自分の弱さに背を向けず前を向いてその弱さと両立して生活をして段々とその心の弱さを克服できるようにしたい。

◎3学年の実践 「奇跡のリンゴ」

主題名：挑戦 授業者：増居 将也

不可能とされていた無農薬・無肥料のリンゴ栽培を成し遂げた木村秋則さんの偉業についての話である。木村さんは、22歳の時に、リンゴ農家の木村家の養子となり、散布する農薬に夫人が過剰反応して体調を崩すことから、無農薬のリンゴ栽培を始める。しかし、その挑戦はまったくうまくいかず、木村さんはたくさんの借金を抱え、自殺を考えた。そして、自殺しようとした山奥で無農薬栽培の答えを見つけ、そこからリンゴ無農薬栽培を成功させた。

生徒の感想（一部抜粋）

- ・あきらめない心の強さをもち、自分も好きなことを突き詰めたい。
- ・一つ一つの目標を達成していくことを大切に、自分の根本にある気持ちを忘れずに取り組んでいきたい。
- ・自分を信じ、一度決めたことをやり遂げたい。
- ・あきらめないで成し遂げた後に、どんな良いことがあるか、なぜ頑張るのかを目的を考える。
- ・自分を信じて、人に流されずに最後までやり通す。
- ・「いつかは！」と強く思いながら、日々自分を進化させていきたい。
- ・もし、あきらめそうになった時は、支えてくれた家族を思い出すようにしたい。